

# TOKAI

東海防衛だより

2022  
令和4年

夏



陸上自衛隊 守山駐屯地 司令部庁舎（於：桜フェスティバル）

## 夏号の主な内容

- ◆ 守山駐屯地創設63周年記念行事・久居駐屯地開設70周年記念行事
- ◆ 伊勢湾掃海訓練
- ◆ 周辺対策事業の紹介(かわしま学びの庭機能復旧工事)
- ◆ 愛三岐の街から(笠松町)
- ◆ 東海3県の防衛生産・技術基盤  
(三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所)
- ◆ 自衛官募集案内
- ◆ 防衛省職員採用案内



# 守山駐屯地創設63周年記念行事及び 久居駐屯地開設70周年記念行事

令和4年4月10日、愛知県名古屋市中に所在する陸上自衛隊守山駐屯地において「守山駐屯地創設63周年記念行事（桜フェスティバル）」が開催されました。

当日は、桜咲く晴天の中、記念式典と併せて、車両試乗や装備品展示等の会場が設けられ、密にならないようコロナ感染防止対策を図りながら、来場された方々は各隊員と車両試乗や装備品見学等を楽しんでいました。



佐野守山駐屯地司令からの式辞



車両試乗



記念式典



観閲行進



観閲行進



向田久居駐屯地司令からの式辞



久居駐屯地らっば隊と  
第10音楽隊による合同演奏

また同日、三重県津市に所在する陸上自衛隊久居駐屯地において「久居駐屯地開設70周年記念行事」が開催されました。晴れわたる青空の中、屋外での式典会場では、観閲行進や訓練展示等が行われ、各隊員の頼もしく凛々しい雄姿が披露されていました。

## 伊勢湾掃海訓練

令和4年2月1日から10日までの間、伊勢湾の松阪港沖約13kmに設定された訓練海面において、横須賀市に司令部を置く海上自衛隊掃海隊群に所属する全国の掃海部隊から掃海母艦「ぶんご」を含む艦艇13隻、航空機1機、隊員約900名が集結し、掃海訓練（機雷戦訓練）が実施されました。



掃海母艦「ぶんご」

海上自衛隊掃海隊群は、現在、伊勢湾を含め全国4箇所で掃海訓練を実施していますが、伊勢湾での掃海訓練は、年度を締めくくる総括的なものとして、海上自衛隊掃海隊群にとって極めて重要な訓練です。



訓練機雷を撤収する水中処分員

掃海訓練は、掃海艇や掃海ヘリコプターを使用し、機雷の除去・処分や敷設を行う能力の維持向上を図るため、日本沿岸の海域で訓練に適した地域において毎年行われているものです。なお、伊勢湾での掃海訓練は、平成22年度以降11回目の実施となります。

令和3年度の掃海訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置実施期間中であつたため、全国から集結した掃海部隊は、感染防止対策を徹底するため、例年寄港させていただいている松阪港には寄港することなく、訓練海面に集結し、訓練終了後、その場で散開しました。

掃海訓練の期間中においては、伊勢湾周辺の漁業者の皆様様に操業制限を行っていただくこととなるため、愛知県及び三重県の各漁業協同組合連合会や訓練海面に近い地元の各漁業協同組合等の皆様方にご協力いただき掃海訓練を実施しています。

東海防衛支局では、今後とも、伊勢湾における掃海訓練の必要性、重要性を地元の皆様方にご理解していただき、ご協力を得ながら、伊勢湾における掃海訓練を継続的に実施できるよう努めてまいります。

かわしま学びの庭（認定こども園）  
（機能復旧工事）

岐阜飛行場  
周辺

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為または防衛施設を設置若しくは運用により生ずる障害を防止または軽減するための事業です。



「かわしま学びの庭（認定こども園）」

防衛省では、「防衛施設周辺環境の整備等に関する法律」に基づき、航空機等の飛行騒音の障害を防止するため、学校、幼稚園等の施設に対し、防音工事の施工を実施し、騒音の低減を図るとともに、冷暖房機器の更新や空調設備の設置など、快適な環境の整備を図ります。



乳児室（空調設備機能復旧工事後）

航空自衛隊岐阜基地がある岐阜市にあり、認定こども園として運営されています。令和4年度に実施した機能復旧工事により、冷暖房機器の更新や空調設備の設置など、快適な環境の整備を図ります。



遊戯室（空調設備機能復旧工事後）

かわしま学びの庭  
「保育士さんの声」  
冷暖房機器の取替工事を行ったことで、快適な環境の中、子供たちが、以前にもまして更に楽しく遊びと過ごすようになりました。また、私たちも快適な環境の中で保育ができるようになります。大変嬉しく思っています。

防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



◎コンセプト

背景に握手のデザイン、前面に人と人が手をとり合うデザイン、そして緑色の色調により、防衛省が国民の皆様のご理解とご協力のもと施策に全力で取り組んでいく意思を表しています。

防衛省・自衛隊は、安全保障政策への理解促進や危機管理対応、地域の皆様の生活環境改善などを旨とし、「地域社会との協力を象徴する施策」に日々積極的に取り組んでいます。

この取り組みについて、より国民の皆様にご理解いただくための、防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムです。

今後、防衛省の補助事業で整備した施設等への標示をはじめ、各種イベントのパンフレットや広告での使用など、防衛省全体として、幅広く活用していきます。



岐阜県

かさまつ  
笠松町



古田聖人 笠松町長

【『豊かや』と『やすらや』  
あふれる創造文化都市】

岐阜県南部の濃尾平野に位置し、清流木曾川に抱かれた笠松町は、古くから水陸の交通の要衝として、木曾川を通じて岐阜と名古屋を結び、産業・文化の重要な地として発展を遂げてきました。

江戸時代には幕府直轄地として「美濃郡代笠松陣屋」が置かれ、この地方の行政の中心地として栄え、明治時代になると、この陣屋は「笠松県庁」さらに「岐阜県庁」とし

て活用され、明治6年に現在の岐阜市へ移行するまで県政を執った岐阜県政発祥の地でもあります。

明治22年7月の町制施行により「笠松町」が誕生し、平成30年には町制130年を迎えましたが、現在でも町内には明治時代の川湊の石畳をはじめ、歴史的遺産や寺社仏閣が多く残り、政治や経済の中心地として栄えた歴史を伝えていきます。

当町では、今後も、こうした自然や歴史、文化などの様々な魅力が一層の輝きを放つよう、「まちの魅力を活かしたにぎわいと癒しのまちづくり」の理念のもと、新たなにぎわいを生み出すことで町全体が心も生活も『豊か』になり、すべのひとが幸せで癒しを感じられるような『やすらぎ』のあるまちを目指してまいります。



江戸時代後期から続く「奴行列」



木曾川笠松渡船場跡「石畳」



リバーサイドカーニバルでの自衛隊ブース

【自衛隊との関わり】

笠松町では、毎年10月の第3日曜日に木曾川河畔で「リバーサイドカーニバル」を開催しており、当日は、郷土芸能をはじめ、園児や小中学生による演技・演奏の披露などが行われ、多くの来場者でにぎわいます。（令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

会場内に設けられる「防災コーナー」には、自衛隊岐阜地方協力本部の皆さんのご協力のもと、自衛隊の活動を紹介するパネル展示や制服試着などができるブースを出展いただいております。町民が自衛隊活動に対する理解を深める貴重な機会となっております。

## 東海三県の防衛生産・技術基盤

### 防衛装備品関連企業紹介

#### 三菱重工業(株) 名古屋誘導推進システム製作所

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品の調達にあたり、品質管理に精通した検査官により、厳格な監督・検査業務を実施しております。

このコーナーでは、我が国の防衛力を支える、重要かつ不可欠な要素である防衛生産・技術基盤として貢献している製造会社を紹介いたします。

### 航空宇宙産業の一翼を担う企業として

三菱重工業(株) 名古屋誘導推進システム製作所は、1972年(昭和47年)に名古屋航空機製作所の小牧北工場として小牧市東名高速道路沿いにエンジン組立、試験工場として操業を開始しました。

1986年(昭和61年)に名古屋市内に位置する大幸工場より全面移転し、飛昇体、航空・宇宙エンジン、制御機器等の開発、生産、修理などを行っております。1989年(平成元年)に名古屋航空機製作所より独立して名古屋誘導推進システム製作所となりました。

防衛省との契約では、小型機用エンジンや回転翼機用トランスミッションといった航空機関連部品の納入のほか、次期SH-60用ギアボックスの能力向上に携わっております。



名古屋誘導推進システム製作所全景



04式空対空誘導弾



SH/UH-60用トランスミッション



12式地対艦誘導弾

また、12式地対艦誘導弾、04式空対空誘導弾、地対空誘導弾ペトリオット等の各種誘導弾及び関連するシステムを納入するとともに、PAC-3 MSE弾の製造や12式地対艦誘導弾の改良等を通じ、各装備品の能力向上に貢献しております。

# 自衛官募集

自衛隊は自律した「ひとつの社会」。  
「あらゆる仕事」があるんです。



どんな時も自分たちで  
任務を完遂できるよう、  
あらゆる仕事があります！

希望と適性に基づく、あなたの能力を活かせる仕事にきっと巡り合えます。

自衛官募集

検索

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



☆『令和4年度自衛官等採用案内』

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/new/img/index/topics/r4nittei.pdf>

詳しくは、最寄りの地方協力本部までお問い合わせください。



## 自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部（地本）は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

### 愛知地方協力本部

(電話) 052-331-6266

<https://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



- 「自衛隊 広報ROOM」(名古屋市中村区椿町21-2 第3太閤ビル1階)  
自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しめるスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来てください！

### 岐阜地方協力本部

(電話) 058-232-3127

<https://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



- 自衛隊広報センター「自衛館」(岐阜市神田町9-4 KJビル2F)  
自衛隊のパネルや装備品の模型などを展示しています。また、5月下旬以降にはF4ファントムの模擬コクピットを展示する予定です。ぜひファントムのコクピットに触れて下さい。(時期はツイッターで発表します。)

### 三重地方協力本部

(電話) 059-225-0531

<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>



- 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！  
左記アドレスのHPで各種イベントやZOOMによる自衛隊説明会の案内等を行っています。また、本部ご来訪時には、レアなグッズが手に入るかも?!

### 自衛官候補生について

応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
18歳以上33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表時期は試験時にお知らせします。

## 令和5年度防衛省職員採用のご案内

東海防衛支局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の合格者から職員を採用しています。

東海防衛支局では、国家公務員採用一般職試験（大卒・高卒程度）各合格者から事務職を専門とする職員を毎年採用しています。

本年度についても令和5年度採用に向け、下記に記載する採用活動を行う予定ですので、当支局又は人事院HPからご確認の上、ぜひご検討ください。

### 【業務概要】

・事務官として、総務・人事・会計業務の他、地方公共団体や地域住民の方々の理解と協力を得るための活動や防衛施設周辺にお住いの地域住民の方々の生活や福祉の向上を図る業務等に従事します。

### 【大卒程度採用イベント】

- ・6月末～7月上旬：業務説明会／現場説明会／職員との懇談会
- ・7月～8月：官庁訪問
- ・8月中旬（人事院試験最終合格発表後）：採用面接

### 【高卒程度採用イベント】

- ・10月中旬：業務説明会／職員との懇談会
- ・11月中旬（人事院試験最終合格発表後）：採用面接

※上記イベントは、今後計画の都度、当支局HP等に掲載します。

また、開催にあたっては、東海北陸エリアに所在する防衛省各採用機関（陸上自衛隊、航空自衛隊）も参加する予定ですので、入省先に悩んでいる方や東海防衛支局以外に興味がある方も是非ご検討ください。



防衛省職員業務説明



防衛省各採用機関説明・懇談会

東海防衛支局ホームページ  
「採用情報」

<https://www.mod.go.jp/rdb/toukai/saiyou/saiyou.html>



人事院ホームページ  
「国家公務員試験採用情報NAVI」

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>



## 新着任者紹介

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 計 課 長	岡 田 善 文	施設補償管理課長	関 場 一 幸
施設企画課長	晴 山 敬 介	報 道 官	金 城 秀 利
周辺環境整備課長	富 山 博 充	岐阜防衛事務所次長	濱 口 知 泰
防音対策課長	山 田 一 人	(令和4年4月1日付)	

発行：東海防衛支局広報誌編集委員会  
〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館 電話052-952-8212  
2022年（令和4年）夏号（通巻第51号） <https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

